

木浦地区公民館だより

令和7年1月10日

No.279(6年-19)

発行 木浦地区公民館



新年おめでとうございます

木浦地区公民館長 磯谷正芳

2025年は比較的穏やかな幕あけとなりました。今年はどんな1年になるのでしょうか。それにつけても昨年の思いもかけない大地震。復興の遅れの報道を見るたびに少しでも早く日常の暮らしを取り戻してほしいと願うばかりです。

木浦地区公民館では1月5日に恒例の書初め大会を実施。参加者は小学生7名。また7日には寺子屋18名の参加を得て、新年の活動がスタートしました。

ところで、先号で今年度の公民館事業の現状についていくつか課題をあげましたが、それと合わせて思いついたことがあります。それはここまで事業を実施することのみ目を向け、大切なことをおろそかにしていなかったかということです。大切なこととは事業を通して何をねらうか。例えば仲間と集まり楽しむ、技を競う、新しいことを体験する、何かを身につけ、楽しむ・・・そういう観点から見ると、単に参加者数だけでは測れないものがあるのではないかと、また違った形での事業へのアプローチ、新規事業の計画立案にもつながるのではないかと思います。

またこれまで公民館が地域の人にとって集いの場となっていたかということも気になります。少子高齢化の流れの中で、地域の人が気軽に集える場としての機能も求められると思います。公民館としてもそんな場や機会を工夫、提供も、公民館事業に位置付けていくことも考えてみたいと思います。

新年を迎えあれこれ考え、思いつくままに書いてみました。改めて思います。公民館の役割って何だろう。それはともかく2024年度も残り3か月しっかり取り組んでいきたいと思います。今年もよろしく願いいたします。
そして皆様にとってよい年になりますように・・・

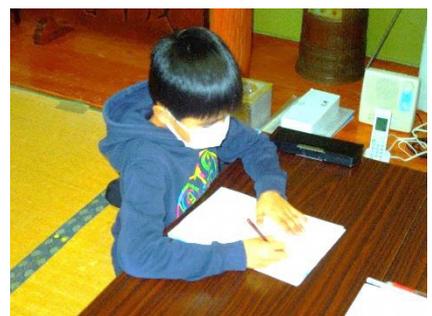




新春書初め大会



1月5日（日）『新春書初め大会』を行いました。小学生7名、講師の楠田先生、川合先生、公民館役員6名の合計15名で新年最初の事業となりました。一枚一枚丁寧に真剣に、1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆に時間いっぱい取り組みました。書きたびに上達する姿に役員のみなさんも驚いていました。会場の理由で今年も作品展は実施できませんでしたが、それぞれお家用の作品を仮巻きにはり、素敵な仕上がりになりました。そして、頑張ったあとはお楽しみのお年玉くじを行いました。みんなで楽しい時間を過ごしました。



新年早々、みんなで笑顔あふれる事業となりました。今年も木浦の子どもたちといろいろな体験ができるように活動していきたいと思います。